

背景

- 国際不動産カンファレンス(International Real Estate Conference) は、2015年から年一回、アジア諸国において、不動産関連団体の主催により開催。
 ※ 2015年:フィリピン、2016年:韓国、2017年:タイ、2018年:ベトナムにて開催。
- 国土交通省及び日米不動産協力機構(JARECO)が、各不動産関連団体と協力のもと、2019年9月2日(月)～4日(水)の日程で、東京での開催を目指して準備中。

開催趣旨

- 開発、流通、投資等、不動産に関するあらゆる分野の主体が参加し、学術的な観点も含め、各国の不動産市場の現状や将来に関する意見交換を行う。
- 展示ブースやレセプションなどを通じて、日本や各国の事業主体のビジネスモデル、先端技術に触れる機会や参加者同士のネットワーキングの機会を提供する。

対象者・参加者(案)

- 民間企業 (日本/海外)
 - ・ 不動産デベロッパー、不動産流通企業、不動産テック企業、不動産管理・運用企業、不動産証券市場関係者(機関投資家、不動産投資顧問会社、金融機関を含む)等
- 業界団体 (日本/海外)
 - ・ 不動産関連団体
- 想定参加者数及び参加者出身国
 想定参加者数: 500名程度
 想定参加国: 日本、米国、韓国、中国、モンゴル、フィリピン、シンガポール、ベトナム、インドネシア、マレーシア、香港、台湾、インド 等

参加登録

<https://irec2019.realtor/>にて受け付けております。

ロゴマーク



スローガン

JAPAN- Gateway to the World
 (訳: 日本- 世界へと繋がる入り口)



IREC2018ベトナムの様子